



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月30日

上場会社名 エムケー精工株式会社  
コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年3月21日～2024年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,954	1.6	2,270	3.6	2,350	1.5	1,579	4.6
2024年3月期第3四半期	22,602	6.4	2,191	32.9	2,315	31.6	1,510	25.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,709百万円 (15.1%) 2024年3月期第3四半期 2,014百万円 (18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	107.45	
2024年3月期第3四半期	103.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	28,608	16,641	58.2	1,130.59
2024年3月期	26,777	15,031	56.1	1,024.32

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,641百万円 2024年3月期 15,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		8.00	8.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月21日～2025年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	3.4	1,800	15.4	1,800	20.1	1,200	68.2	81.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	15,595,050 株	2024年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	876,184 株	2024年3月期	920,272 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	14,699,787 株	2024年3月期3Q	14,655,633 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢や世界的な資源価格の高騰による継続的な物価上昇、米国の今後の政策動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する業界におきましては、オート機器及び情報機器の分野では、設備投資が底堅く推移したものの、生活機器の分野では、物価上昇の長期化に伴う生活防衛意識の高まりから消費マインドの改善に足踏みが見られ、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築と次の成長フェーズに向けた構造改革を加速させ、グループ全体の最適化とシナジー強化、収益力の向上に努めてまいりました。また、社会における多様なニーズやその変化に応えるべく、高付加価値商品の研究開発に注力するとともにメンテナンス体制の強化を図り、モノづくりとサービスの高度化に取り組んでおります。そして、SDGsや脱炭素社会の実現を含む様々な課題を“美・食・住”の視点から探求し、新しい事業、製品及びサービスのデザインを通じて、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は229億5千4百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は22億7千万円（前年同期比3.6%増）、経常利益は23億5千万円（前年同期比1.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億7千9百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、SS（サービスステーション）向けでは、政府助成事業の補助金制度により売上げが大幅に増加した前年同期に比べ、今期は同制度の対象外となり低調に推移しました。カーディーラー向けでは、整備作業の省力化需要により売上げが伸長しました。オイル機器は、ローリーの売上げが伸び悩んだものの、エアコンプレッシャーが堅調に推移しました。情報機器は、価格表示機及び工事用表示機の売上げが低調に推移しました。一方、官公需向け道路情報板及び大型LEDビジョンに関しては、受注増加により売上げが伸長し、全体としては前年実績を上回る結果となりました。

その結果、売上高は前年同期比1.7%減の152億6千8百万円となりました。

#### (ライフ&サポート事業)

主力製品の低温貯蔵庫と、もちつき機などの家電商品は、需要の回復が見られず売上げは前年実績を下回りました。一方、保冷米びつや精米機などの米関連商品は、米不足を契機とする消費者の米保管需要の高まりなどにより好調に推移しました。また、音響関連商品は、特定顧客向け製品の受注により売上げが伸長し、攪拌機は、官庁物件の受注増により売上げを伸ばしました。食品加工機は、設備投資の回復や海外市場の経済活動の進展により好調を維持したことから、売上げは前年実績を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比5.4%増の51億7千7百万円となりました。

#### (住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。建築資材価格の高騰や人手不足の影響により、建築計画の見直しや工期の延期もあり、売上計上が先送りになる案件もありますが、木・アルミ複合断熱建具は、脱炭素社会の実現に向けて、木材利用の加速やZEB化に向けた高断熱建材の需要増加などが追い風となり、好調を維持しています。また、民間企業の社屋や施設においても木質化が進み、木・アルミ複合断熱建具の採用は広がりを見せており、売上げが伸長しました。消音装置についても、都市部の再開発事業、データセンター、ホテル、学校関係での需要が増加し、好調に推移しました。

その結果、売上高は前年同期比17.0%増の23億2百万円となりました。

#### (その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業、長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業やIoT関連機器の企画・開発・販売業などを行っております。ホテル業は、インバウンド需要に頼ることなく、ビジネス客を中心に観光客や各種イベント、スポーツ大会に参加する団体の宿泊需要の取り込みに注力してまいりました。同業他社との競争が激化する中、売上げは前年実績を僅かに下回る結果となったものの、その他の事業全体としては、売上高は前年同期比5.7%増の2億6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億3千万円増加し286億8百万円となりました。流動資産は18億1百万円増の192億4千5百万円、固定資産は2千8百万円増の93億6千2百万円となりました。これは主に事業の繁閑等の季節的要因に伴い受取手形、売掛金及び契約資産が22億3千6百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円増加し119億6千7百万円となりました。流動負債は4百万円増の99億5百万円、固定負債は2億1千7百万円増の20億6千1百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億8百万円増加したこと、未払法人税等が2億3千7百万円減少したこと、その他の固定負債が2億4千1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ16億9百万円増加し、166億4千1百万円となりました。これは主に利益剰余金が14億6千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年10月25日発表の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,870,322	4,837,959
受取手形、売掛金及び契約資産	5,040,255	7,276,898
商品及び製品	2,610,928	2,202,408
仕掛品	1,666,730	1,810,211
原材料及び貯蔵品	2,802,101	2,668,549
その他	467,747	467,249
貸倒引当金	△14,430	△17,897
流動資産合計	17,443,655	19,245,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,505,861	1,421,913
機械装置及び運搬具（純額）	132,695	98,131
土地	3,110,030	3,110,030
その他（純額）	214,432	394,667
有形固定資産合計	4,963,021	5,024,743
無形固定資産		
のれん	232,289	134,201
その他	765,241	687,362
無形固定資産合計	997,530	821,564
投資その他の資産	3,373,286	3,516,478
固定資産合計	9,333,838	9,362,786
資産合計	26,777,493	28,608,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,338	1,600,873
短期借入金	1,600,000	1,710,000
1年内返済予定の長期借入金	976,896	883,744
未払金	4,122,893	4,315,830
未払法人税等	517,960	280,021
賞与引当金	557,560	350,170
引当金	133,324	133,324
その他	700,185	631,378
流動負債合計	9,901,157	9,905,341
固定負債		
長期借入金	1,033,310	1,021,650
退職給付に係る負債	276,209	263,035
その他	535,181	777,078
固定負債合計	1,844,700	2,061,764
負債合計	11,745,857	11,967,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,935,630	2,932,559
利益剰余金	7,908,982	9,371,039
自己株式	△429,433	△408,860
株主資本合計	13,788,731	15,268,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	770,464	882,863
為替換算調整勘定	566,894	584,728
退職給付に係る調整累計額	△94,454	△94,823
その他の包括利益累計額合計	1,242,904	1,372,768
純資産合計	15,031,635	16,641,059
負債純資産合計	26,777,493	28,608,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
売上高	22,602,610	22,954,198
売上原価	15,112,614	15,283,024
売上総利益	7,489,995	7,671,174
販売費及び一般管理費	5,298,527	5,400,213
営業利益	2,191,468	2,270,960
営業外収益		
受取利息	20,151	37,087
受取配当金	52,797	59,534
為替差益	22,351	—
スクラップ売却益	37,898	33,342
その他	28,379	25,990
営業外収益合計	161,578	155,954
営業外費用		
支払利息	26,458	19,680
為替差損	—	46,934
その他	11,108	9,935
営業外費用合計	37,567	76,549
経常利益	2,315,480	2,350,366
特別利益		
固定資産売却益	872	55
特別利益合計	872	55
特別損失		
固定資産除売却損	3	—
減損損失	—	23,800
特別損失合計	3	23,800
税金等調整前四半期純利益	2,316,349	2,326,621
法人税、住民税及び事業税	693,880	631,969
法人税等調整額	111,990	115,197
法人税等合計	805,871	747,166
四半期純利益	1,510,478	1,579,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,510,478	1,579,455



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
四半期純利益	1,510,478	1,579,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196,912	112,398
繰延ヘッジ損益	635	—
為替換算調整勘定	304,313	17,833
退職給付に係る調整額	2,140	△368
その他の包括利益合計	504,002	129,863
四半期包括利益	2,014,480	1,709,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,014,480	1,709,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)
減価償却費	510,682千円	365,507千円
のれんの償却額	117,810	98,087

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	15,528,690	4,911,328	1,967,764	194,828	22,602,610	—	22,602,610
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,528,690	4,911,328	1,967,764	194,828	22,602,610	—	22,602,610
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,717	552,243	343	129,634	684,939	△684,939	—
計	15,531,407	5,463,571	1,968,108	324,462	23,287,549	△684,939	22,602,610
セグメント利益又は損失 (△)	2,695,880	354,756	90,399	70,283	3,211,320	△1,019,851	2,191,468

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,019,851千円には、セグメント間取引消去19,786千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,039,637千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	15,268,608	5,177,581	2,302,005	206,003	22,954,198	—	22,954,198
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,268,608	5,177,581	2,302,005	206,003	22,954,198	—	22,954,198
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,208	491,574	—	130,896	625,679	△625,679	—
計	15,271,816	5,669,155	2,302,005	336,900	23,579,878	△625,679	22,954,198
セグメント利益又は損失 (△)	2,477,308	620,412	164,597	80,241	3,342,560	△1,071,599	2,270,960

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,071,599千円には、セグメント間取引消去27,026千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,098,625千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフ&サポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては23,800千円であります。